

農地中間管理機構活用シンポジウム～農地の貸し借りお手伝い～

農地集積および新たな担い手の確保

(株)田切農産

## 設立前

小集落ごとの機械利用組合など  
農家個別の経営

### 営農センターの設立(昭和61年～)

兼業農家・専業農家がそれぞれのむきに  
合った農業を町ぐるみ、地域ぐるみによる  
地域複合経営を目指す

### 集約(地区営農組合の設立)

各集落にあった組織を地区ごとに集約  
農地の利用調整・作業受託

### 2階建法人の設立(平成17年～)

農家の高齢化、後継者不足を背景に  
担い手法人を設立

### 新たな農業・農村政策への対応

地域資源管理法人の設立  
農業政策の見直しに対応したシステム作り  
ソーシャルビジネスの確立

## 田切地区の問題点

農業従事者の高齢化  
65歳以上が60%

果樹・園芸農家の減少  
水稻中心の経営

農産物の収益性の減少

耕作条件の不利  
中山間地域が30%

個の農家で解決できない問題は  
集落営農組織で問題解決を目指す

**農林水産業・地域の活力創造プラン**  
「農業・農村の所得増大」

- |         |         |
|---------|---------|
| 農地集積    | 輸出増加    |
| 生産コスト削減 | 6次産業化   |
| 青年農業者   | 加工業務用野菜 |
| 法人化     |         |

**農業の構造改革**

**これから変わる農業政策**

生産調整政策の見直し

付加価値・用途別市場・地産地消 などの競争が激化？  
そして米価の下落

収入保険制度へ移行

経営管理・加入資格・青色申告(実績)が必要

- ・ 認定農業者
- ・ 認定就農者
- ・ 農業法人
- ・ 集落営農組織

**集落営農組織に入っていない農家**

- 農業の産業化
- 担い手への政策の集中

**地域・農村の問題点を洗い出す**

- ★ 農業従事者の高齢化・減少
- ★ 若者に農業の関心がない・後継者不足
- ★ 農業インフラの維持 耕作条件の不利
- ★ 営農組織の弱体化
- ★ 農業政策の転換
- ★ 農産物価格の下げ止まり TPP問題

**なぜ集落営農組織を法人化したのか**

**農地の維持 農村の維持  
農業の維持**

活用できるもの

- 人・農地プラン
- 農地中間管理機構
- 日本型直接支払(多面的機能支払)
- 経営所得安定対策

**組織活動が支える飯島町農業**

営農センターを核とした地域複合経営

**営農センター**

農業関係機関、農業団体、農業者  
が長期的かつ総合的な農業・農村  
の活性化方策の企画立案評価を  
行う機構

頭脳的機能

**地区営農組合**

地域農業のマネージメント機能  
に実践機能を組み合わせた  
営農組織

実践機能

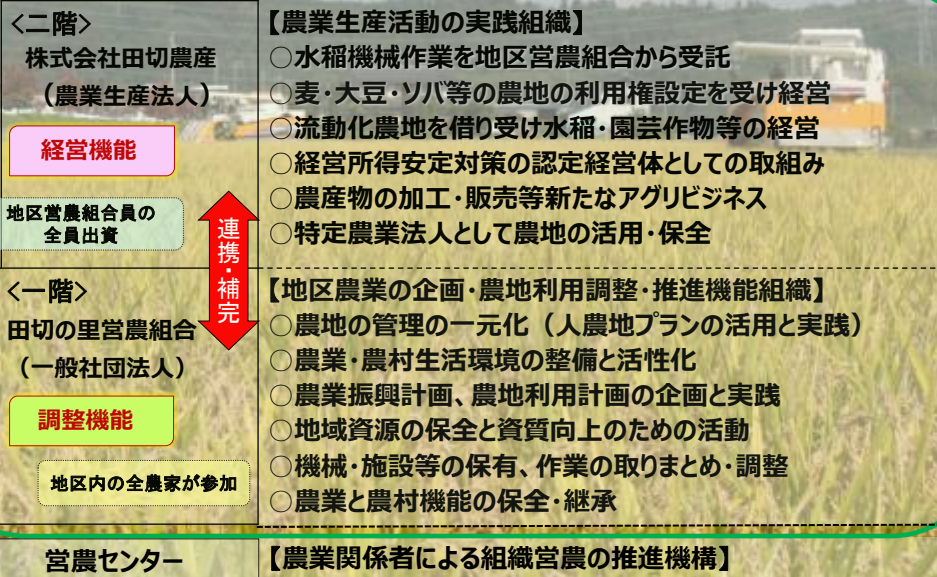
連携・協調

**地区担い手法人**

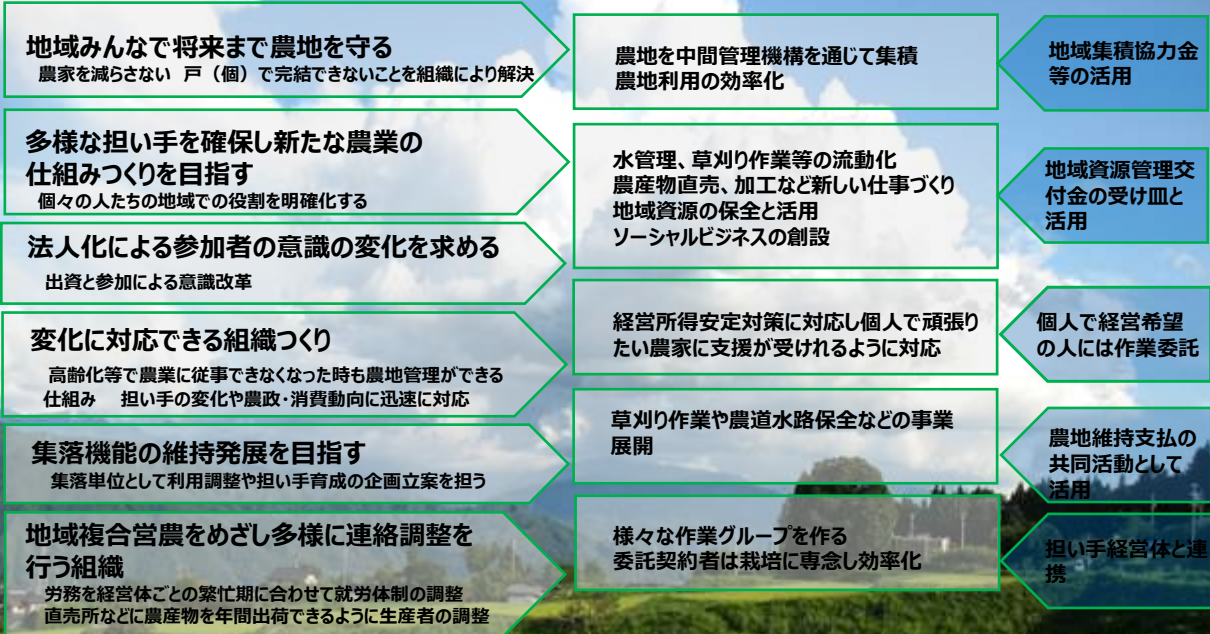
地区内農地の受託経営組織、機械施設等作業受託組織

地区農業の実践組織

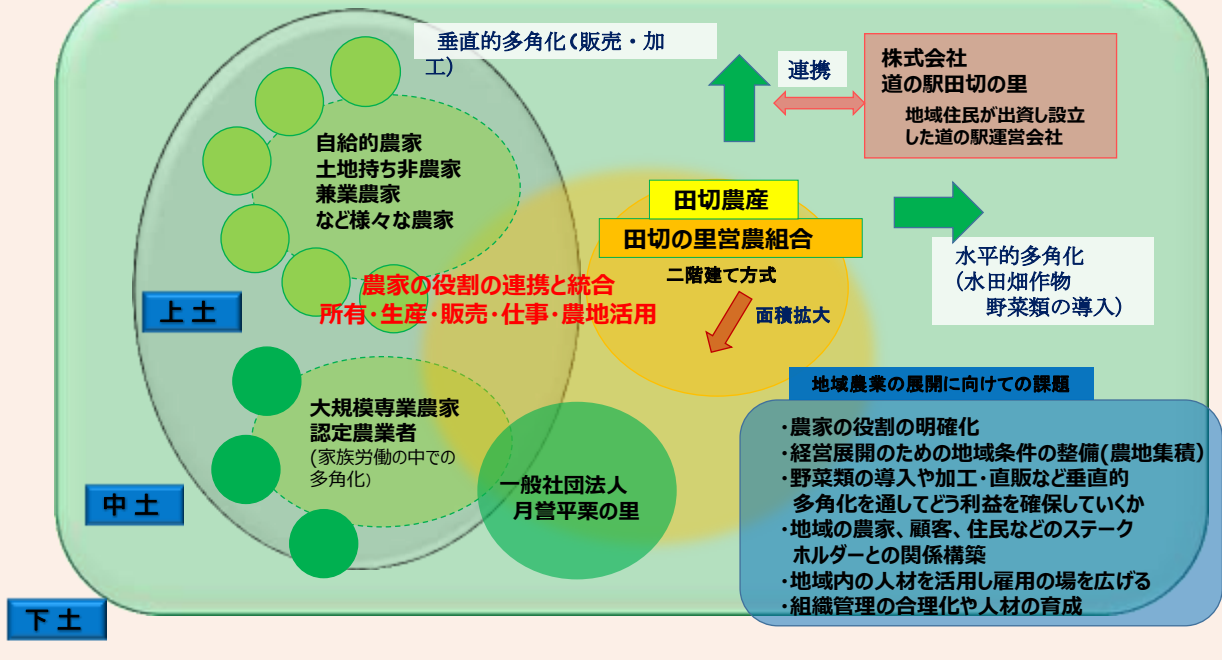
### 営農組合と担い手法人（二階建方式）



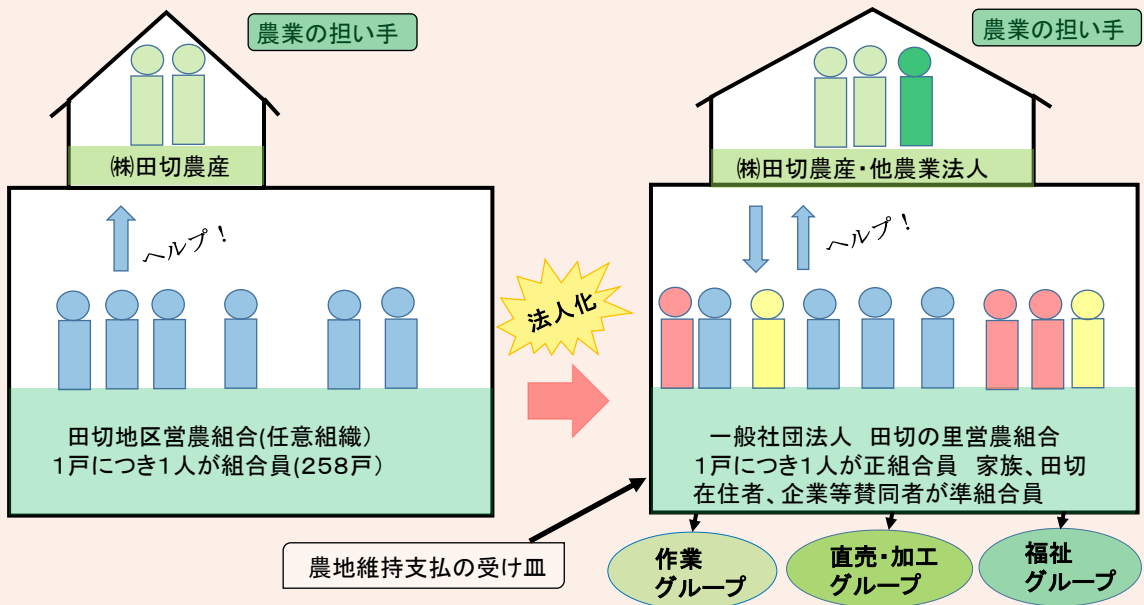
### 地域資源管理法（一般社団法人田切の里営農組合）の目的



### 地域農業の展開に向けて



### 二階建て方式の一階部分を法人化するイメージ



**一般社団法人の特徴**

一般社団法人とは営利を目的としない法人

- ・0円でスタートできる  
株式会社のように設立時に資本金を必要としない  
前任の営農組合の資産は寄付（受取りは非課税）  
すれば清算分配が不要に
- ・誰でも設立できる
- ・2人以上で設立が可能
- ・登記のみで設立が可能（登記料120,000円）
- ・非営利型法人として運営  
事業で利益を得ること、得た利益を分配することを  
目的としない  
余剰金は次年度活動資金として繰り越しが可能  
交付金を繰り越しても課税されない
- ・基準期間課税売上が1000万以下なら消費税免税
- ・農業収入（1000万円以下）と交付金だけなら税務申告が不要



**一般社団法人田切の里営農組合（仮称）**

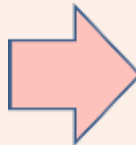
**組織・事業概要**

- 社員（組合員）** 田切地区の農地所有者または管理者・飯島町  
準社員 田切地区在住者、企業
- 機関** 社員総会 監事 理事会 運営委員会 専門部
- 役員** 会長 副会長 理事 監事 部長 集落ごと営農組合長
- 事業年度** 毎年6月1日～翌年5月31日まで年一期  
**事業**
- 地域マネジメントと農地一元管理  
地区内の農地を中間管理機構を通じて集積する 新規・更新と  
契約中のものは貸し替え
  - 利用調整  
貸手10年借手5年の契約期間を有効に利用しながら地区内の  
農地の計画利用する 個人で経営希望の農家は作業を委託する
  - 作業の流動化  
農道水路保全、草刈り、管理作業の流動化を進めて事業化する  
（作業グループ化）
  - 政策対応  
個人で頑張りたい農家への支援が受けられるように対応（作業委託など）  
地域集積協力金・多面的機能支払の受け皿
  - 人材確保と育成  
余剰労力を活用して新規事業や農作物の直売、加工などの経営展開

**営農組合の法人化に向けて 一般社団法人田切の里営農組合（地域資源管理法）**

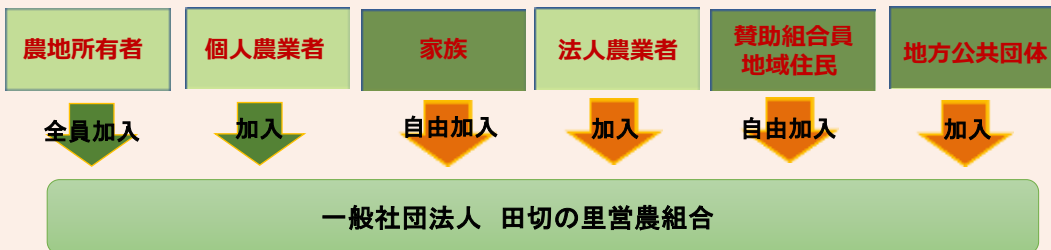
**地域の課題**

- ・農業者の高齢化と担い手の激減
- ・農地利用の分散
- ・農業者からの多様なニーズ
- ・地域資源の保全が困難に

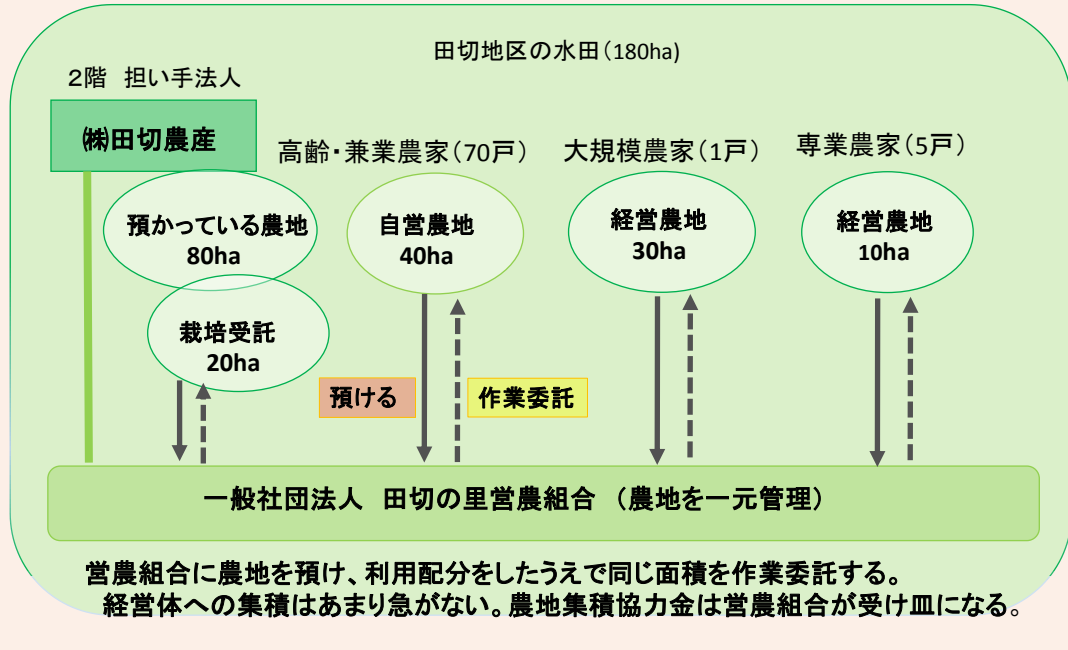


**期待される役割（活動）**

- ・農地の利用計画、農地利用の集団化
- ・担い手育成・支援
- ・多様なニーズの具体化（高齢者、女性の活用）
- ・担い手法人等支援（畦畔・水管理・労働力）
- ・地域と連携した地域資源の保全



## 農地集積へのイメージ

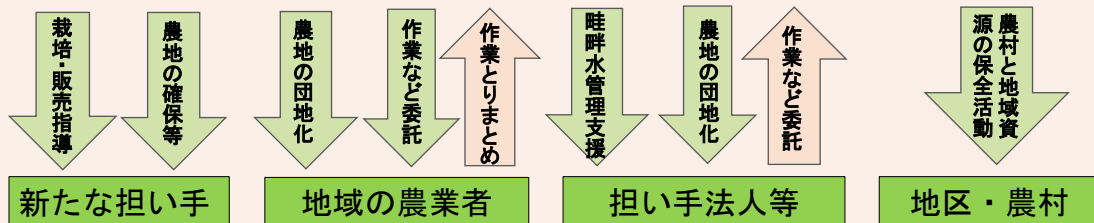


## 営農組合の法人化に向けて 一般社団法人田切の里営農組合 (地域資源管理法)

農地所有者全員が加入し、地権者と農業経営者が協力して地域と農業を振興

営農企画調整	農地利用調整	担い手育成	作業班の育成	多様な担い手の育成	作業の取りまとめなど	農業農村保全活動
--------	--------	-------	--------	-----------	------------	----------

1. 地区の農業や農地の状況を的確に判断し、将来を展望した農業振興計画の樹立
2. 農地利用調整機能により、効率の高い農地利用の実施と担い手経営体農地の団地化
3. 高齢化等による農業者の激減を補う経営体の育成と多様な担い手の育成支援
4. 担い手法人との連携を強化し、総合力により地区農業の継続と農地の保全
5. 草刈り、水管理、定植・収穫作業などの受託組織を育成し、担い手や高齢者などの経営を支援
6. 地域と連携した地域資源の保全など地区の農村・農業の維持のための農村経営



## 月誉平栗の里 (遊休農地対策) の取り組み



田切地区内の遊休荒廃地の地権者が集まり一般社団法人を立ち上げ飯島町特産の栗を主体とした団地を作りました。  
遊休農地化しそうな農地の一元管理と、地権者の全員参加が特徴です。

- ① 荒廃農地対策 (利用改善事業)  
4.6haの全農地集積と境のない圃場で栗栽培 (個人利用の農家も農地も参加し将来に備え)
- ② 全員参加の栗栽培 (集落営農方式)
- ③ 栗の生産振興 (6次産業化)  
飯島町栗の里づくり計画 (栗製菓会社誘致)
- ④ 安定経営 (もう一つの6次化)  
企業等から出資金(基金)集め(60%を栗業者)
- ⑥ 農地を守る法人 (一般社団法人)  
1人1票の議決権



・中央部が月誉平・面積 約4.6ha  
・点が栗の木 株間5.5m×5.5m



### 田切農産

作業の受託  
とうがらし栽培の委託  
畦畔管理・  
稲刈りなどの委託  
人材の交流

連携



出資協力

### 月誉平栗の里

栗の管理・販売  
果樹の作業受託  
とうがらし等受託栽培  
作業の委託  
人材の交流

連携



出資協力

### 田切の里営農組合

農地の委託  
作業の委託  
人材の交流

## （株）道の駅 田切の里の設立



田切地区の拠点となる施設を作るため  
住民(区民)が出資し、運営管理会社を設立



主な事業  
農産物直売  
レストラン・そば店  
農産加工・惣菜  
地域サポート(移動販売)  
など地域に直結した事業



### 道の駅 田切の里のめざすもの

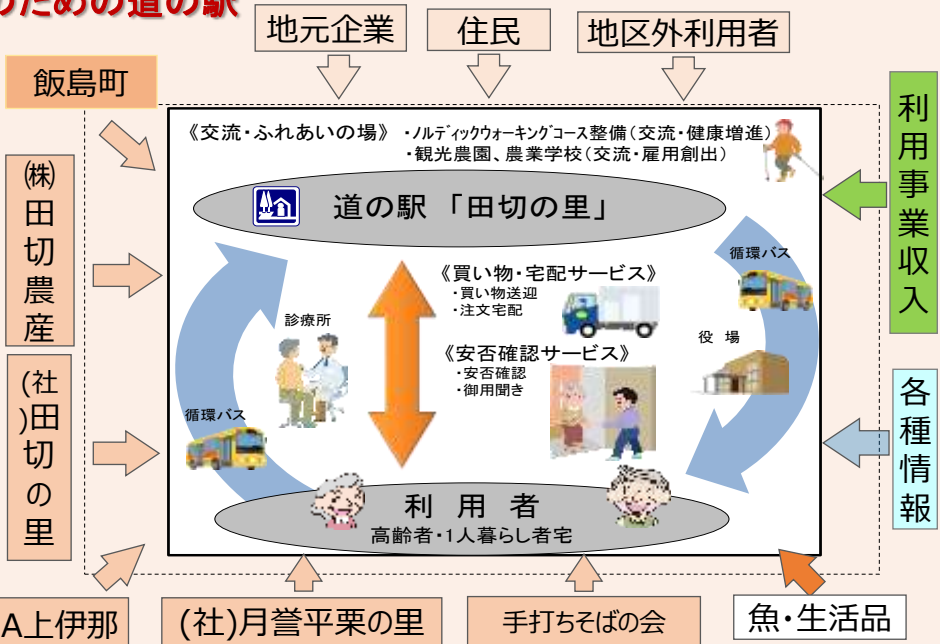
1. 地域のよりどころ、ふれあいの場としての施設
2. 少子高齢化に対応し、暮らしに役立つ道の駅
3. 女性、高齢者が生きがいをもって生産活動に参加できる場所作り
4. 地域で生産された農産物の販売、加工と食文化の伝承  
農産物生産による地域の所得向上につながる施設
5. 都市と消費者との交流と農業の多面的機能の発揮できる施設
6. 地域の雇用拡大に貢献
7. 地域の福祉と災害に対応する施設

## 田切地区住民のための道の駅

構成員

田切地区住人  
(85%の戸が参加)  
田切地区内企業、  
道の駅利用者

交流拠点機能  
地域活性化拠点機能  
地域生活拠点機能  
地域防災拠点機能  
情報発信機能





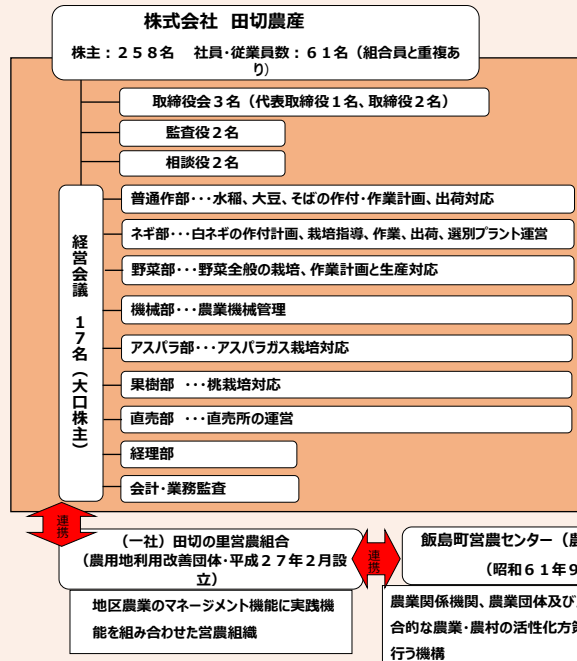
# 田切農産の経営理念



- 永続する農業**
  - 地区の農家が10年後も同じように農業を続けていくためのサポート
- 環境にやさしい農業**
  - 自然環境に配慮したやさしい農法、厳しさを増す農業環境に対応しサポートする農業
- 創造する農業**
  - 新しい農産物や事業の取り組みと地域活性化と人づくりを目指す農業

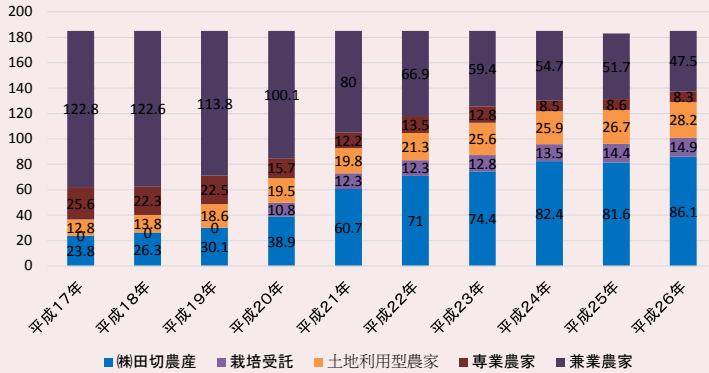
## ㈱田切農産 会社概要

- 代表取締役 1名 取締役 2名
- 平成17年4月22日設立
- 監査役 2名
- 社員 8名
- パート・従業員 35名
- 平成21年5月株式会社に変更
- 株主(組合員)258名
- 資本金 330万円
- 営農組合員が全戸出資
- 平成17年認定農業者認定
- 平成18年特定農業法人認可
- 平成22年直売所開店
- 平成23年全国優良経営体表彰
  - 農林水産大臣賞受賞
- 平成24年JA長野中央会
  - 優良組合員組織顕彰受賞
- 平成25年長野県知事賞受賞
- 平成27年日本農業賞特別賞受賞



- 経営会議は、1階部分の営農組合役員OBと集落のリーダー的なメンバーで構成されている。
- 組合員平均出資額は5,000円であるが、経営会議メンバーは50,000円以上を出資し経営に参画するという意識を持っている。
- 年4回の会議を開催し、会社の方針、事業内容の検討を行っている。

### 集積農地の推移 (ha)



	稲刈り作業	田植え作業	他作業	延べ面積
平成25年	47.2	14.0	10.9	71.7
平成26年	46.6	16.0	16.8	79.1
平成27年	43.5	17.0	19.5	79.8

### 田切地区の農業機械保有状況

機 械 名	個人保有	田切農産	田切の里営農組合
大型トラク	3台	3台	1台
小型トラク	12台	3台	
自脱型コンバ	4台	1台	4台
田植え機	8台	1台	2台
汎用コンバイ	1台		2台
コンバイン		1台	
ラッピングマ		1台	
乗用管理機		1台	
ネギ収穫機		2台	
管理機		5台	
マニアスブ	1台	1台	
キャリアカー		1台	
普通ダンプ		1台	
フォークリフ		2台	

### 田切農産の事業

米・麦・大豆・そば等の穀物の生産販売  
 水稲 38ha 大豆 10ha そば 15ha WCS 12ha  
 エコファーマーの取得

野菜などの生産販売  
 ねぎ委託栽培 5ha トウガラシ アスパラガスの栽培 1ha  
 ねぎ出荷プラントの運営

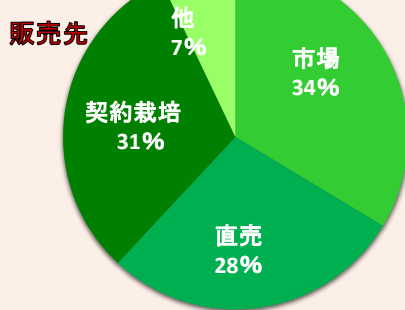


農産物直売所の運営  
 農産物、加工品の販売  
 地域の農業の情報発信

農作業の受託  
 水稲作業 延80ha 大豆防除作業 30ha  
 その他受託作業 30ha 乾燥施設の運営

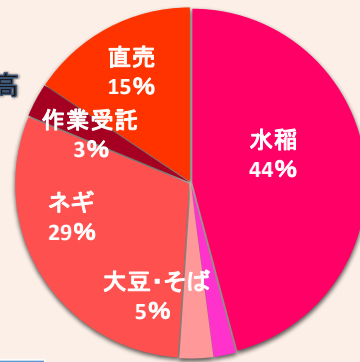
(平成26年度)

### 主な販売先と売上高



契約・販売先  
 地元消費者 通販  
 自然食品販売会社  
 酒造会社 そば屋  
 JA 地元スーパー  
 ホテル・レストラン

### 売上高



水稻 5884万円  
 大豆 217万円  
 そば 369万円  
 ねぎ・野菜 4143万円  
 作業受託 700万円  
 直売 2133万円

	平成26年度	平成25年度	平成24年度	
売上高	140,018,026	129,287,805	134,054,671	
材料費	22,459,893	23,247,171	21,214,204	
労務費	46,761,884	35,160,611	30,194,561	
農産物仕入高	12,927,843	12,513,234	12,275,415	直売所販売農産物
作付助成配分	3,056,820	2,396,839	3,026,439	交付金
作業委託費	25,093,527	27,040,767	28,254,751	
リース料	6,362,489	7,246,741	7,853,219	
支払地代	5,170,916	5,003,060	5,490,200	
業務委託費	13,325,602	13,660,503	14,201,093	共選・カントリー利用料
一般管理費	19,217,488	18,089,185	16,781,075	

地域への還元割合 93,007千円 (82,112千円)  
 H26 66% H25 63%)

H26年度 (H25年度)

### 環境にやさしい農業の取り組み

●有機資材肥料使用と農薬不使用はとても手間がかかります。



**ミヤマシジミ**(絶滅危種ⅠB類)

おやましじみ

共生米

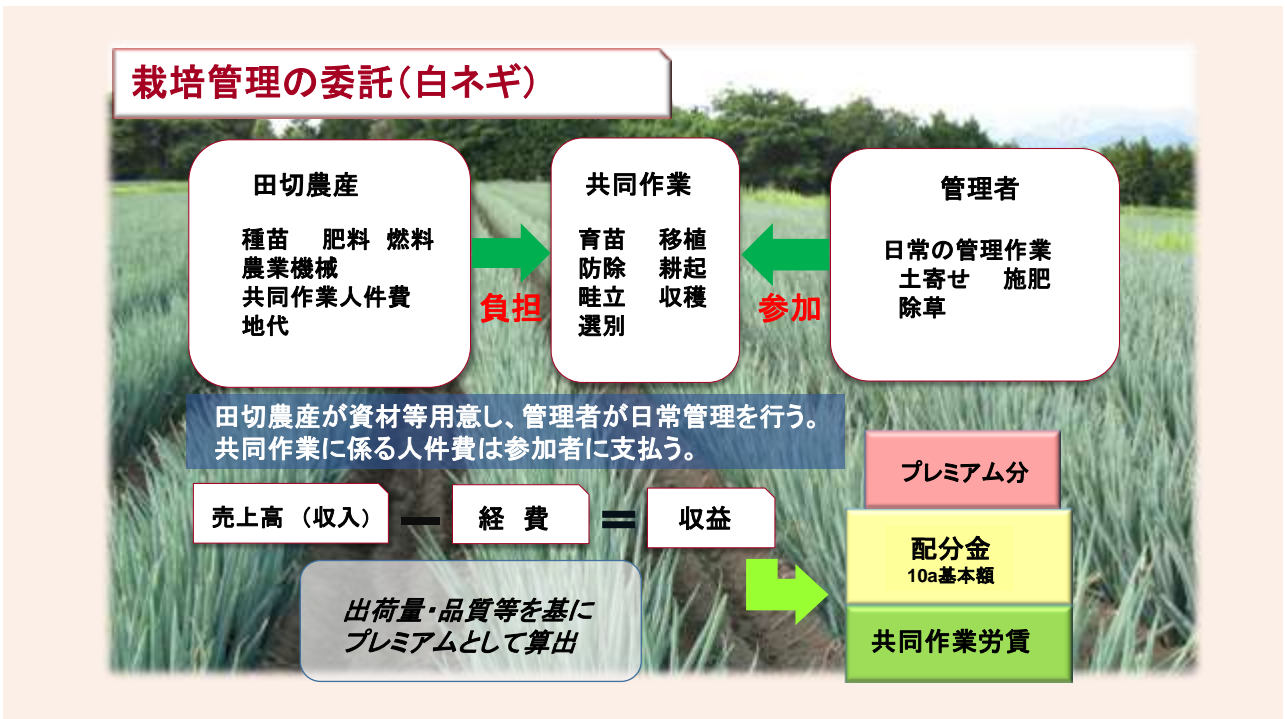
環境を守り育てる

生き物調査の様子

ピオトープの製作

●ミヤマシジミの生息環境の保護のためにコマツナギの植栽を行います。

●田切地区の環境の調査と保全のためにピオトープを作り多様な生き物との共生を図ります。





掘り取り作業



ねぎの仲間たち 栽培を通じて仲間の輪が広がりはじめています

収益性の比較

	収量 K/10a	単価 (円)	粗収益 円/10a	経費 円/10a	所得 円/10a	所得率	備考
白ねぎ共選出荷	2700	309	834,300	753,776	80,524	10%	JA栽培指針
白ねぎ箱出荷	2700	309	834,300	528,298	306,002	37%	JA栽培指針
当社出荷(27年)	2510	329	825,790	699,682	126,108	15%	

経費(27年)

種苗費	肥料費	農薬費	諸材料	作業委託	手数料	他	労務費
36	36	21	40	220	155	36	178

(10a/千円)

ねぎ栽培の様子



残雪の頃の移植



JA指導員を招いての勉強会



管理作業はひとりで黙々と...



防除作業

## 6次産業化の取り組み

新商品、唐辛子ピネガー開発のために支援チームを作りました。地元企業の内堀醸造と信州大、行政、田切農産が協力して新商品の研究と開発を行います。地区内の農家に栽培を委託しトウガラシの産地化を目指します。



定期的に関催された勉強会と作業



第1号商品 すっぱ辛の漬



## トウガラシの委託栽培

地域の農家に栽培の委託を行います  
 苗、資材は田切農産が用意(販売後精算)  
 支柱・ネットなどは貸出  
 集荷前日に収穫し翌朝搬入  
 出荷先には午前中に納入(鮮度維持)



	収量(k)	単価	販売金額	経費	所得	所得率
チェリーボム	1200	250	300,000	105,000	195,000	65%
ハラペーニョ	1300	250	325,000	105,000	220,000	67%
栃木三鷹	550	350	192,000	75,000	117,000	60%

10a当  
金額/円

種苗費	肥料費	農薬費	諸材料	計
75,000	17,000	7,000	6,000	105,000

## 次世代の農業担い手育成プログラム



農業体験プログラム 田植え



長野県里親制度に登録し  
研修生の受け入れを行っ  
ています。  
研修、就農希望者のため  
のプログラムを用意して新  
規就農者を応援します。

### 地域と農業を知ってもらおう！

農業塾の開催や、企業CSR  
の協力、収穫体験など農業  
を知ってもらえるイベントを  
開催しています



### 農業研修

農地・農機具の貸与  
生活資金確保の協力(仕事の提供)  
野菜栽培の委託  
地域での生活サポート

数年後に独立を目指す



## キッチンガーデンたぎり 田切農産物直売所



個性ある直売所づくり……小さくても輝くセンスのお店作り  
お客様目線に立った商品づくり……地元産・新鮮・価格へのこだわり  
安心安全の栽培・販売……生産者の顔が見える農産物作り  
地域の農業と農産物の情報発信… お客様との交流・情報の提供

移動販売、朝市をホテル  
やイベントで始めました



直売所に野菜・ハーブ園を併設  
自分で収穫してもらい、はかり  
売りを基本としています

直売所から広がる...



消費者と農業体験を  
通じて交流、そこから  
新商品が生まれました



ハロウィンランタン作り教  
室などの開催



永続する農業  
そして地域・農村経営を目指して



人作り... 人資源を生かし経営者を作る  
仕事作り... 小さなことでも新しいことを始める  
地域作り... 成果を分け合い、仲間を増やす  
物語作り... 伝えることでサポーターを作る



ご清聴ありがとうございました